

国立大学協会「昭和60年度以降の共通第1次学力試験
の出題教科・科目等に関するアンケート調査」の集計結果

国立大学協会第2常置委員会

国立大学協会入試教科目改訂専門委員会

I. 出題の教科・科目

国 語

◦ 原案賛成	90	(96.8%)	
(賛成 (賛成(コメント付)			82 (88.2%) 8 (8.6%)
◦ 修正案	1	(1.1%)	
◦ 原案賛否表明せず	2	(2.1%)	

社 会

◦ 原案賛成	58	(62.4%)	
(賛成 (賛成(コメント付)			40 (43.0%) 18 (19.4%)
◦ 修正案	20	(21.5%)	
◦ 原案・修正案併記	15	(16.1%)	
(多数意見は原案賛成 (原案・修正案同数 (多数意見は修正案			6 (6.45%) 6 (6.45%) 3 (3.2%)

数 学

◦ 原案賛成	81 (87.1 %)	
(賛成 賛成 (コメント付))		62 (66.7 %)) 19 (20.4 %))
◦ 修正案	7 (7.5 %)	
◦ 原案・修正案併記	4 (4.3 %)	
(多数意見は原案賛成 多数意見は修正案)		3 (3.2 %)) 1 (1.1 %))
◦ 原案賛否表明せず	1 (1.1 %)	

理 科

◦ 原案賛成	80 (86.0 %)	
(賛成 賛成 (コメント付))		61 (65.6 %)) 19 (20.4 %))
◦ 修正案	4 (4.3 %)	
◦ 原案・修正案併記	7 (7.5 %)	
(多数意見は原案賛成 原案・修正案同数 多数意見は修正案)		4 (4.3 %)) 2 (2.1 %)) 1 (1.1 %))
◦ 多数意見は当面賛成 但し賛否に不算入希望	1 (1.1 %) 1 (1.1 %)	
◦ 原案賛否表明せず	1 (1.1 %)	

外国語

◦ 原案賛成	84 (90.3 %)	
(賛成 賛成 (コメント付))		67 (72.0 %)) 17 (18.3 %))
◦ 修正案	7 (7.5 %)	
◦ 原案・修正案併記	2 (2.1 %)	
(多数意見は原案賛成 原案・修正案同数)		1 (1.1 %)) 1 (1.1 %))

II. 各教科についての修正案一覧

(数字は大学数)

国語	Δ	\circ^{Δ}	$\circ-\Delta$	Δ°
○国語 I のみ	1			
社会	Δ	\circ^{Δ}	$\circ-\Delta$	Δ°
○原案通りの出題から任意の2科目	3	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$
○A 1 (「現代社会倫」, 「現社会政・経」,) 日, 世, 地から2科目	5	2	$2\frac{1}{2}$	0
○A 2 (A 1 の前2科目から1科目 後3科目から1科目)	1	0	0	$\frac{1}{2}$
○B 1 (現社, 倫-政・経, 日, 世, 地から2科目)	$1\frac{1}{2}$	1	2	1
○B 2 (B 1 の前2科目から1科目 後3科目から1科目)	0	1	0	$\frac{1}{2}$
○現社のみ	1	0	0	0
○現社以外から2科目	4	0	0	$\frac{1}{2}$
○全科目から任意の2科目	$1\frac{1}{2}$	0	0	0
○原案通りの出題から日本史と他の1科目	1	0	0	0
○日, 世, 地から1科目	0	1	0	0
○現社, 倫-政・経から1科目	0	$\frac{1}{2}$	0	0
○ { 文系 原案通り 理系 原案の中から1科目	1	0	0	0
○ { 「現+倫」, 「現+政・経」記述式* 日, 世, 地 マーク・シート * (第2次試験大学で採点)	1	0	0	0
Σ	20	6	6	3
数学	Δ	\circ^{Δ}	$\circ-\Delta$	Δ°
○数 I のみ	2	$1\frac{1}{2}$		0
○数 I 以外から2科目	0	$\frac{1}{2}$		0
○原案 但し「電子計算機と流れ図」を含む	1	0		0
○原案 但し①確率・統計の内統計のみを除く (但し, ①~⑤のすべてから出題する とは限らない)	1	0		0

◦ 原案 但し③微分・積分，④数列の一方，又は 両方を除く	1	0	0	
◦ 原案 但し「数Ⅱ」についても全問解答	0	0	1	
◦ 数Ⅰ＋数Ⅱ合して1科目，と代・幾，基礎， 確・統から1科目	0	1	0	
◦ 数Ⅰ 1科目と数Ⅱ，代・幾，基礎，確・統から 1科目	1	0	0	
◦ 原案 但し，数Ⅰ部分の得点と 選択解答部分の得点を別記	1	0	0	
	Σ 7	3	0	1

理 科	Δ	\bigcirc^{Δ}	$\bigcirc-\Delta$	Δ°
◦ 理Ⅰのみ	1	$1\frac{1}{6}$	1	0
◦ 理Ⅰと物，化，生，地から2計3科目	1	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{2}$	0
◦ 理Ⅰ，物，化，生，地から1科目	$\frac{1}{2}$	$1\frac{1}{6}$	0	0
◦ 物，化，生，地から2科目	0	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{2}$	1
◦ 物，化，生，地にそれぞれ理Ⅰをプラスした ものから2科目	$\frac{1}{2}$	0	0	0
◦ 理Ⅰと物，化から1，計2科目	0	$\frac{1}{3}$	0	0
◦ { 文系：理Ⅰのみ 理系：理Ⅰと物，化，生，地から1，計2科目	0	1	0	0
◦ { 文系：原案 理系：理Ⅰと物，化，生，地から2，計3科目	1	0	0	0
	Σ 4	4	2	1

外国語	Δ	\bigcirc^{Δ}	$\bigcirc-\Delta$	Δ°
◦ 英Ⅰ＋英Ⅱ＋英ⅡA，ⅡB，ⅡC	1	1	0	
◦ 英Ⅰ＋英Ⅱ＋ⅡB，ⅡC	1	0	1	
◦ 英Ⅰ＋英Ⅱ＋ⅡB	3	0	0	
◦ 英Ⅰ＋英Ⅱ＋(英ⅡA，ⅡB，ⅡCから1つ)	2			
	Σ 7	1	1	0

Ⅲ. 各教科の賛成案に付されたコメント概要

- (1) 賛成案についての補足・要望等
- (2) 賛成案以外の少数意見の説明等

国 語

- (1) ◦ 学力検査の水準低下のおそれあるもやむなし (2大学)
- (2) ◦ Iのみ, IIのみ, 原案+国語表現, 原案+古典

社 会

- (1) ◦ 「現代社会」の出題についての十分な検討要望 (5大学)
- 「現代社会と倫理, 政治・経済を加えたもの」の出題
内容の十分な検討及び選択部分の検討要望 (3大学)
- 選択科目間の出題の難易度の一層の検討 (1大学)
- (2) ◦ 原案と同じ出題から任意の2科目, A-1, B-1, B-2, 現社以外, 現社+1科目, 日, 世, 地から2

数 学

- (1) ◦ 「数学Ⅱ」と「確率・統計」「代数・幾何」「基礎解析」との共通部分を, 「数学Ⅰ」に加えて出題するという趣旨の明確化要望 (2大学)
- 選択解答させる分野の教, 分野間の難易度の調整等の研究と表現の明確化要望 (2大学)
- 職業科出身者に対する配慮要望 (1大学)
- (2) ◦ 数Ⅰのみ, 原案の選択部分を1分野でもよいとする
又は2~3分野とする, 論述式解答とする

理 科

- (1) ◦ 「理科Ⅰ」の出題についての検討要望
- 「理科Ⅱ」についての高校の意見調査

- 「理科Ⅰ」の出題の水準保持要望
- 職業科出身者に対する配慮要望

外国語

- (1) ◦ ヒアリング・テストの実施検討要望 (8 大学)
- 学力検査水準の低下の心配 (4 大学)
- 二次試験に英語を出題する必要がある (2 大学)
- (2) ◦ 英語Ⅰ, Ⅱ, ⅡA, ⅡB, ⅡC。英語Ⅰ, Ⅱ, ⅡB,

全 般

- 実際の教科書もよくみて検討を進めたい
- 原案の内容についていろいろの意見も出たが今のところ原案をこえる案はない
- 学力検査の水準の低下, 二次試験の強化
- 共通第1次学力試験はもっと基礎のみでよい

以 上

II 試験の形式を単一試験方式とすることについての意見は次の通りであった。

- 1) 単一試験形式に賛成のもの、意見記入のないもの又は特記事項なしと記入したものあわせて59大学であった。
- 2) 複式試験形式を希望するもの6大学、修正意見を記入したものの3大学であった。
- 3) その他の意見は種々雑多であった。

III 共通第1次学力試験の実施上の諸問題についての意見は次の通りであった。

- 1) 意見の記入のないもの、又は特記事項なしと記入したものが32大学あった。
- 2) その他次の諸問題に関する種々の意見がみられた。
 - イ) 共通1次試験の成績の利用法
 - ロ) 試験実施の時期
 - ハ) 試験場の問題
 - ニ) 自己採点の問題 等

このII、IIIの項目についての意見は更に分類、整理して、今後の改善の資料としたい。